

通知表についての基本的な考え

通知表のねらいは、教科の評価について適切な評価基準による絶対評価を行い、客観性や子ども・保護者からの信頼を得るためです。通知表が子どもにとって学校での学習や生活の取り組みの成果が見られ、自分を見つめ直す励ましになり、その後の学習や発達を促すものにしたいと考えています。また、保護者の皆様にとっても子どもの成長や発達を促進し、今後の指導の方向づけを示す手がかりにしていただければと考えています。

この「あゆみ」は、家庭と学校が協力しあって、よい子どもに育てるための役割を果たすものです。

<学習のようす>

学習の様子は、学習指導要領に準じた観点を基本にして「関心・意欲・態度」「思考・判断」「表現・技能」「知識・理解」の順に観点を意識し、具体的な内容を加味しています。

・観点別の目標を定め、各学期毎に学習の到達度を子ども一人ひとりについて評価する絶対評価をしています。

<行動のようす>

和歌浦の子どもとして、こんな子どもになってほしいという姿から観点を設定しています。

<総合(総合的な学習の時間)> <外国語活動>

取り組んだテーマや重点とした観点をもとに活動の様子や発表の様子、作品等から得た評価を記述しています。